



耳から入った音楽は、脳へと伝わり、自律神経に作用して、心拍や血圧が変化し、興奮や鎮静、リラクゼーションなどの効果がもたらされます。また、心の状態にも影響を与え、感情、知覚、認知を活性化させることもわかっています。ゆったりとした音楽を聴くことで、セロトニンという「幸せホルモン」が分泌され、心の安定や安心感、頭の回転や直観力をあげ、脳を活発に働かせることにつながったり脳の中の海馬と呼ばれるところが刺激され、記憶力が高まったりする効果もあるそうです。もしかしたら、生徒の皆さんにもお気に入りの曲があり、それを聴くと、気持ちが落ち着いたり励まされたりした経験をもっているかもしれません。そのような音楽の効果を学校のどこかで使えないかと考え、朝学習の時間に静かな音楽をかけてみることにしました。学習効果や皆さんの集中力がさらに高まってほしいと考えたからです。8月末から流れている音楽は、きっと多くの人が聴いたことがあるジブリのアニメーションの中から「千と千尋の神隠し」「魔女の宅急便」「天空の城ラピュタ」などで流れている素敵な曲をピアノ演奏用にアレンジされているものです。ある担任の先生が、フォーサイトを見せてくださいました。そこには、「朝学習のときに音楽が流れるようになって、前より集中できるようになった」と書いてありました。皆さんの役に少しでも立っているのなら、こんなにうれしいことはありません。明日から秋休みです。朝晩ずいぶん涼しくなってきましたから、時間を見つけて、音楽を聴きながらの読書をしてみてはいかがでしょうか。

太宰府東中へのあつい思いがあふれていました！

新しい太宰府東中を全校生徒の手で創り上げるのだという思いを「創造れ～今こそ太東アクション～」というスローガンのもと全力疾走してきた第35期生徒会が集大成の時期を迎えています。その頑張りを引き継ぐ第36期の生徒会役員を決める選挙が行われました。その選挙に向けての取組で、太東生の志の高さや底力を感じました。例年であれば、立会演説会で立候補者が一人一人自分の思いを全校生徒の前で述べるのですが、コロナ対策もあり、「パネルディスカッション」形式による開催でした。立候補者にあらかじめ知らせているテーマがあり、まずはそれ



について自分の考えを発表するのですが、その後に驚く場面がありました。それは、パネルディスカッション中に、突然に示されるテーマについて自分の考えを述べなければならないというもの。緊張感あふれる時間でしたが、どの立候補者も、堂々と自分の考えや思いを発表している姿を目の当たりにして「こんなにも太宰府東中のことを見て、感じて、考えてくれたのだ」と思うと感心しました。こんなにも素晴らしいことができるのはなぜなのか。それは、これまで3年生がしっかりと道しるべとなってがんばってくれたからこそ、そして、1、2年生がそれを目指して「もっともっと太宰府東中を盛り上げたい」というあつい思いをもっているからだと思いました。全校生徒で選んだ新しい生徒会役員を中心とした1、2年生全員で、これまで以上の太東を創り上げてくれると確信した時間でした。

通知表の観点別評価について

本年度から新しい学習指導要領による教育活動が完全実施となりました。新しい学習指導要領では、学習する子どもの視点に立ち、育成すべき資質・能力の要素を「知識および技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理されています。これらに基づき、各教科の観点別学習状況の評価の観点も4観点（国語は5観点）から3観点に変わりました。

- ①「知識・技能」…知識および技能の習得状況。それらを既存の知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているか。
- ②「思考・判断・表現」…知識や技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとするかどうか。

本日手にする通知表は今後の成長のために何を改善すればいいのかを示しています。皆さんの今後のさらなる成長のためのヒントや方向性につなげていってください。

